
沼八村交番所属。

人参

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

沼八村交番所属。

【Nコード】

N5338S

【作者名】

人参

【あらすじ】

沼八村という、日本の離れ島がある。

そしてそこには、島の中でもたった一つだけの交番があった。

そしてそこに勤務する新人警察官、七原健一。

これは、島の唯一の交番に勤務する警察官と、村の住民、そして彼の過去が織り成す、物語。

（前書き）

初めまして、人参です。以前他のサイトでも小説を書いていたので、知っている方がいれば嬉しいですよ。

初投稿で至らない点も多いと思いますので、どしどし感想とか送ってください！

注意！この話に登場する沼八村は、現実には無いです。
よって、この物語もフィクションですので、あしからず。

「今日も異常無しでした！」

張り上げた声が、交番内に響く。

「おお、ご苦労さん。麦茶、置いていたから」

交番の奥からひょっこりと顔を出した初老の男性。まるで大黒様のように常ににこやかだ。

とはいえ、締めるところはしっかりと締める。その制服の着こなし方は一切の緩みは無く、同職の鑑とも言えるほどであった。

「ありがとうございます」

休憩室からにこやかな顔を覗かせる初老の男性に軽く礼をし、彼は自分のデスクについた。そして、置いてある麦茶を少し飲み、デスクの隣にある窓に目を向けた。

彼のデスクは交番の入り口の端にあり、その隣には夏に日差しが良く入る、大きな窓がある。

そして、その窓から見える光り輝く海、そして木々が生い茂る山。

何の変哲もないが、それが彼に

「良い景色だ・・・」

そう言わせる程、美しいのだ。

「中々、様になっているじゃないか」

初老の男性は奥の休憩室からゆつたりと歩き、彼の隣に立った。

「いやあ、まだまだスよ、部長」

「そうかねえ」

彼の謙遜に、部長と呼ばれた初老の男性は軽く顎を摩った。

「だが、ここに飛ばされた時は驚いたろう？」

「少し驚きましたが、覚悟してた事なんで」

官給の制服、異常無し、飛ばされた、そして
交番。

「た、大変だよ！お巡りさん！」

「酒屋の親父のトラックが、溝にはまっちゃったんだ！」

「なに、行くぞ、七原！」

「いえいえ、俺だけで十分ス。部長は待っててください」

そう、ここは沼八村という、日本の離れ島の、海沿いの交番。

そして、その交番を飛び出て、勢い良く自転車に乗る警察官が、一人。

「沼八村交番所属、七原健一、ななはけんいち 出動！」

これは、沼八村の警察官と住人達が織り成す、物語である。

（後書き）

次回は春から夏にかけてをお送りします。

楽しみにして下さい！

（今回は春です。すいません、それっぽい描写がなくて）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5338s/>

沼八村交番所属。

2011年10月8日21時34分発行